

「満映」の娯民映画における多義  
性—1942年の作品を中心に

文学研究科

言語文化専攻 中国語中国文学専修

2022年度

M21LC301

カン シンネイ  
管 新寧

## 目次

第1章 序論	4
第2章 1942年の娯民映画の様相	9
第1節 「満映」の娯民映画の製作について	9
第2節 1942年の娯民映画の様相	12
2.1 古装映画	13
2.2 現代劇映画	22
2.3 「満洲国」建国十周年の祝賀映画と国策映画	26
第3章 『迎春花』：「日満親善」映画の多義性とジレンマ	30
第1節 メロドラマに潜むプロパガンダ	31
1.1 日本人と「満洲人」の交際にみる「日満親善」	31
1.2 日本人による「大東亜共栄思想」の主張	33
第2節 『迎春花』にみる多義性とジレンマ	36
2.1 受容問題に関する考察	36
2.2 配役からみる「内在的要素」	41
第4章 『皆大歡喜』：娯民映画の娯楽性と政治性	46
第1節 『皆大歡喜』における満洲表象の構築	47
1.1 『皆大歡喜』のシークエンス分け	47
1.2 「満洲国」首都の繁栄像の構築にみるプロパガンダ	50
1.3 ドラマチックな場面にみる娯楽性	53
1.4 満人像の描写にみる植民地化	55

第2節 映画のシーンと歴史上の「大東亜建設博覧会」	59
2.1 博覧会と「満洲」	59
2.2 『皆大歡喜』と大東亜建設博覧会	64
2.3 「宝くじ」、「音楽堂」から読み取る二重性	69
第5章 結論と今後の課題	75
参考文献	77